



主要な農作物の生育情報

平成25年度 第3号

(平成25年6月20日)

福島県農林水産部農業振興課



【水 稲】

田植は、初期の低温や水不足等により一部地域で遅れが見られましたが、県全体では5月末日までにほぼ終了し、平年と比較して始期で1日、盛期、終期で2日の遅れとなりました。

(田植期) 本年 始期	5/9	盛期	5/17	終期	5/26
平年	5/8		5/15		5/24

生育は、農業総合センターにおける作況試験(6月11日現在)では、平年と比較し、本部では草丈が短く、茎数は多く、会津地域では草丈が平年並みで茎数は多く、浜地域では(平年値がないため)前年と比較し、草丈が平年並みからやや短く茎数は多い状況です。

【麦 類】

1 大麦(シュンライ)

農業総合センターにおける作況試験の出穂期は、本部で4/24、浜地域では4/26といずれも平年より2日早くなりました。成熟期は、本部では6/4で平年より1日早く、浜地域では6/9と3日遅くなっています。

2 小麦(きぬあずま、ゆきちから)

農業総合センターにおける作況試験の出穂期は、平年と比較し「きぬあずま」が本部で5/3で平年並み、浜地域では5/4の1日遅れ、「ゆきちから」が本部では5/7で1日早く、会津地域は5/18の5日遅れとなりました。

本部における成熟期は高温少雨により登熟が進んで、「きぬあずま」は6/11、「ゆきちから」は6/15となり、平年比でそれぞれ5日から6日早くなっています。

【野 菜】

1 きゅうり

県中地方の露地栽培の定植は、平年並みの5月25日を中心に行われましたが、少雨の影響により一部地域で生育の遅れが見られました。ほ場により生育のバラツキが見られますが、6月下旬から収穫が始まる見込みです。

2 トマト

県南地方では、4月定植の作型で7~8段目開花、2段目収穫開始初期を迎えています。春先の低温の影響で生育の遅れが一部ほ場で見られましたが、現在は平年並みに生育しています。

南会津地方では春先の低温の影響で、一部で生育の遅れが見られましたが、その後の天候の回復より平年並みの生育に戻りました。収穫は平年並みの7月中旬から始まる見込みです。

3 さやいんげん

会津地方の早播き栽培は、平年並みに定植が行われましたが、低温により生育に遅れが見られました。しかし、その後の天候の回復により、遅れを取り戻し、現在は1番成り収穫の盛期を迎えています。

4 ピーマン

安達地方では定植が5月下旬から6月上旬にかけて行われましたが、かん水が出来なかったほ場では、定植後の乾燥により活着不良等が見られています。

5 アスパラガス

会津地方の露地栽培は、霜害の影響等で出荷が遅れましたが、5月中旬からの天候で平年並みの出荷に戻りました。現在、6月上旬から立茎が行われています。

【果 樹】（農業総合センター果樹研究所 6月17日現在）

1 も も

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が平年比101%、側径が99%、「ゆうぞら」は縦径が平年比102%、側径が99%と両品種ともにほぼ平年並みの状況です。

農業総合センター果樹研究所における「あかつき」の収穫期予測によると、収穫始めは8月3日頃、収穫盛りは8月7日頃で、共に平年より1日遅いと予測されています。

2 な し

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が平年比99%、横径が103%、「豊水」は縦径が平年比99%、横径が102%とほぼ平年並みの状況です。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が平年比98%、横径が98%でほぼ平年並み、「ふじ」は縦径が平年比94%、横径が94%で平年より小さい状況です。

4 ぶどう

農業総合センター果樹研究所における「巨峰」の開花は、開花始めが6月5日、開花盛期が6月9日で、共に平年より1日早い状況でした。

【花 き】

1 キク類

県北地方のコギクは、8月咲きにおいて少雨による影響から生育の遅延が見られます。特に草丈の伸長が抑制されており、前年より20cm程度低くなっています。ほ場において、かん水作業が行われています。

2 リンドウ

安達地方では、水の確保が難しいほ場において生育の停滞が見られますが、極早生品種は平年並みに出蕾期を迎えています。南会津地方では、少雨に伴う草丈の伸長抑制はほとんど見られず、極早生品種において6月下旬から収穫が始まる見込みです。

3 シュッコンカスミノウ

会津地方では、少雨の影響はほとんど見られず順調に生育しています。現在、6月咲きの作型の出荷が始まっていますが、6月下旬から7月にかけて出荷数量が増加してくる見込みです。

4 トルコギキョウ

会津地方では、促成栽培の出荷はほぼ終了し、6月17日頃から半促成栽培の出荷のピークを迎えます。この作型は、春先の低温や日照不足の影響で生育が遅れましたが、5月中旬からの天候回復等に伴い、開花が平年並みまで回復しています。

【飼料作物】

1 牧 草

牧草は、4月中旬以降の低温の影響による生育の遅れは回復し、5月下旬から収穫期を迎え、現在収穫作業が行われています。

2 飼料用とうもろこし

飼料用とうもろこしは、4月下旬の低温の影響から5月中旬に播種作業が行われ、現在生育はやや遅れています。播種の遅れたほ場においては、発芽不良が一部見られています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11224